

会長就任あいさつ

平成23年5月17日（火）

全日本中学校長会第35代会長 大江近

ただいま、全日本中学校長会第35代会長としてご承認いただきました、東京 渋谷区立上原中学校長 大江近でございます。本日この場においてこのような形で壇上に登らせて頂いたことは、きわめて光栄なことであるとともに、すぐに対応しなければならない課題が山積していることを考えると、その責任の重大さに身が引き締まる思いがいたします。また、果たして私が全国1万人の校長先生方の代表として務めを果たすことができるのだろうかという不安があることも正直な気持ちでございます。皆様から情報と知恵と勇気とお力を拝借し、誠心誠意、全国の中学生の輝く未来のために尽くす所存でございますので、どうかよろしく願いをいたします。

まず冒頭に、本年3月11日に発生した東日本大震災における犠牲者の皆様、被災者の皆様に心から哀悼の意を表するとともに、お見舞いを申し上げます。新藤久典前会長からもお話がありましたように、被災地に対して可能な限り、支援・援助を継続して参る所存でございます。被災地の一日も早い復興と教育環境の回復のために全日本中学校長会が一丸となって努力することをお誓いいたします。

さて全日中はこれまで歴代会長および副会長、そして各県理事・全会員が力を合わせて「発信する全日中」「行動する全日中」そして「有言実行の全日中」として確固たる地位を築き、政府に対する意見具申および要請、国民に対する啓発および共同行動、相互啓発などに努め、「我々意識」というチームワークのもとに一定の成果をあげてまいりました。そのような中で、文部科学省をはじめとする政府機関からの全日中に対する期待も極めて大きく、政策提言するシンクタンクとしての地位をゆるぎなきものとするなど、関係機関との信頼関係も築いてまいりました。全日中は教育のプロで構成する集団です。評論家の団体でもなく、政治結社や特定の思想団体でもありません。実践もあり理論もある、教育の実践的専門家集団であります。その実践的専門家の一人として教育界を俯瞰してみると、学校週5日制の評価、学力低下に関する見解、健全育成への対応、特別支援教育など教育の制度や考え方が、そのときの政治情勢によって目まぐるしく変化しているのが現実であります。さらには教員採用への対応や教職員の処遇改善の状況など人的にも物的にも全国各都道府県における教育環境の格差がますます広がってしまっている現状もあります。このような現実においては、学校の現場を付託された校長は何を拠り所として判断をすればいいのか、生徒にとってその制度改革でいいのか、不安感ばかりがつかまといえます。中学校では来年度から学習指導要領が全面実施となりますが、学習指導要領が適正に実施されるための人的措置、教材準備のための予算、教員の処遇等の教育環境の整備が十分できているのか、このような課題を関係機関や各政党は理解できているのか、はなはだ疑問であります。教育という営みは人間の価値を育てることにあると思います。教育は人間としての価値を磨くことであると思います。教育は我々が住んでいるこの人間社会をより平和で快適な社会として持続させるための極めて大切な営みであると思います。特に義務教育の最終段階を担う中学校においては、将来をたくましく生きていく基礎を培い、それぞれの分野で活躍することのできる基盤となる力を育成する責務があります。

平成21年度の福島大会において、公表し取組を始めた全日中教育ビジョンは、「全日本中学校長会は、これらの課題を踏まえ、未来を切り開く豊かな人間性と創造性を備えた日本人を育てるための学校づくりに、総力をあげて取り組まなければならない」宣言いたしております。そのために全日中は、教育の実践的専門家集団として、教育の現状を分析し、学校が取り組むべき課題を明らかにし、保護者や地域が担うべき教育の役割、教育行政が学校教育の充実のために果たすべき責任を整理し、今、校長として何をいかにすべきかという明確なビジョンをもち積極的に学校からの教育改革に取り組むことを約束したのであります。我々が求めている学校教育は「笑顔あふれる学校・可能性を広げる教育環境」であり、そこには「夢を語る生徒」「魅力あふれる教員」そして「しなやかでたくましい校長」がいることであります。

校長会の組織としての役割は、学校教育に関する課題を収集・整理・分析し学校教育の充実のために還元すること、広く国民に理解を求め、とりわけ東日本大震災後の学校教育の振興を図るために必要なことならを文部科学省をはじめ政府関係機関に対して意見具申や要請をすることです。学校教育の分野から国家社会の発展に寄与することです。

全日本中学校長会は義務教育の仕上げをする国内で最高・最大の教育の実践的専門家集団であります。全国約1万人の教育の実践的専門家集団として、生徒の輝く未来のために「学校からの教育改革」の完成をめざし、「有言実行の理念」を堅持し「教育改革を目指す全日中」として知恵と力と心を結集していこうではありませんか。

私は教育の実践的専門家集団としての全日本中学校長会のリーダーとして努力することをお誓いし就任の挨拶とさせていただきます。